

# 行政評価(施策評価シート)

## 1 基本項目

基本目標4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち
基本施策2	自然と調和した安全で快適な都市の形成
施策27	都市基盤整備
基本方針	
羽村駅西口土地区画整理事業を推進し、快適で潤いのある良好な居住環境の創出と市の玄関口にふさわしい駅前の活性化を図ります。また、市街化調整区域である羽字武蔵野等地区について、都市機能の向上と地区内の都市計画施設の充実を図ります。	

## 2 指標(長期総合計画目標指標)

指標名		現状		H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	目標値 (平成28年度)
指標1	羽村駅西口土地区画整理事業の進捗率(事業費ベース)	5%	(平成22年度)	6%	6%	7%	8%		10%
指標2	富士見霊園内の墓地面積	6,539 m <sup>2</sup>	(平成23年度)	6,539 m <sup>2</sup>	6,964 m <sup>2</sup>	6,964 m <sup>2</sup>	6,964 m <sup>2</sup>		7,000 m <sup>2</sup>

## 3 施策を構成する事務事業の実施・評価結果

No	事業名	平成27年度実施結果			評価(所管課長)				指標に係る重点事務事業
		決算/円	執行率	進捗状況	妥当性	効率性	有効性	方向性	
1	羽村駅西口土地区画整理事業の推進	309,861,146	90.7%	計画どおり完了	○	○	○	A	*
2	羽村駅西口地区先導的都市環境形成計画の推進	-	-	計画どおり完了	○	○	○	A	*

## 4 施策評価

### ① 施策の評価

羽村駅西口土地区画整理事業は、既成市街地の再編整備であり、安心、安全で環境に配慮した総合的なまちづくりである。本地区は、その約8割が既に住宅用地等として利用されているため、建物等の移転に向けた、個別の説明や協議を行い、関係権利者等の協力のもと、移転実施計画を基本に計画的かつ効率的に執行し、道路築造工事等については、関係機関との調整や工事範囲を捉えた関係住民への丁寧な説明を行い事業の推進を図っており、進捗率は、事業費ベースで8%となっている(指標1)。

事業期間及び資金計画については、現在、移転実施計画及び移転・工事実績等を踏まえ、見直し作業を進めている。

また、富士見霊園墓地の拡張整備については、目標の墓地面積をほぼ達成しており、低廉な費用で身近に墓地を持ちたいとする市民ニーズに応えることができた。

### ② 今後の方向性(改善への取り組み等)

羽村駅西口土地区画整理事業については、事業計画及び移転実施計画を踏まえ、引き続き権利者への個別説明や協議、工事範囲を捉えた関係住民への丁寧な説明に努め、理解と協力を得て円滑な事業の推進を図るとともに、道路築造工事等における関係各機関との調整を行い、計画的かつ着実な事業の執行により、利便性が高く賑わいのある駅前周辺の商業地や、快適で潤いのある良好な居住環境の創出の早期実現を目指すとともに、事業期間及び資金計画を見直すため、関係機関等との協議を適時に進めていく。

また、基幹事業である土地区画整理事業の進捗にあわせて、引き続き、羽村駅西口地区先導的都市環境形成計画に掲げる事業を推進していく。

市街化調整区域内にある羽字武蔵野等地区については、市街化区域への編入に向けて課題を整理し、関係機関と協議しながら進めていく。

富士見霊園の整備については、今後の市民ニーズを把握しながら対応をしていく。

1.基本項目		作成部署	都市整備部 区画整理管理課・区画整理事業課			
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	進行管理
1	羽村駅西口土地区画整理事業の推進	平成 15 年	その他	自治事務(市独自)	業務委託(一部)	○
	01	年				
	02	年				
	03	年				
	04	年				
	05	年				
関連課	都市計画課					
基本目標 4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	27 都市基盤整備	事業番号	1	

2.事業の概要

事業内容	土地区画整理事業により、羽村駅西口地区の市街地整備を推進し、良好な都市環境の創出を図ります。
根拠法令	土地区画整理法
条例	福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業施行規程 外関連条例等
要綱等	

3.成果指標

成果目標	羽村駅西口地区、面積42.39haの区域に土地区画整理事業を施行し推進する。 JR青梅線羽村駅を中心とした利便性の高い駅前市街地の再編を図るとともに、都市施設と自然が調和した市街地の再生を図る。 平成28年度の羽村駅西口土地区画整理事業の進捗率（事業費ベース）……10%
------	---

4.活動指標

Plan【計画】	平成26年度(現況)	3か年計画		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業内容 事業量等	土地区画整理審議会の運営 事業計画変更の手続き 仮換地の指定 移転実施計画の策定	土地区画整理審議会の運営 仮換地の指定 移転実施計画に基づく街路等整備工事・移転補償の実施	土地区画整理審議会の運営 仮換地の指定 移転実施計画に基づく街路等整備工事・移転補償の実施	土地区画整理審議会の運営 仮換地の指定 移転実施計画に基づく街路等整備工事・移転補償の実施

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成26年度(現況)		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	3人	1,883 H	3人	1,883 H	3人	1,883 H	3人	1,883 H
主事・主任職	3人	1,883 H	3人	1,883 H	3人	1,883 H	3人	1,883 H

②総事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成26年度(現況)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業費	319,300	337,300	816,807	796,013
人件費(係長職)	28,302	28,466	28,466	28,466
人件費(主任・主事職)	20,489	20,326	20,326	20,326
総事業費(合計)	368,091	386,092	865,599	844,805
国庫支出金	3,000	0	215,000	169,400
都支出金	0	0	0	15,400
受益者負担額	0	0	0	0
その他特定財源	1,858	1,443	1,443	1,443
一般会計繰入金	314,442	335,857	600,364	609,770
起債	0	0	0	0
一般財源(人件費含む)	48,791	48,792	48,792	48,792
財源内訳(合計)	368,091	386,092	865,599	844,805

③コスト計算

ア 市民	56,412	人における1人あたりのコストは、	6,844	円		
イ 対象者	4200	人における1人あたりのコストは、	91,927	円		
ウ 成果物	整備面積	の出来高	423963	m <sup>2</sup> における1 m <sup>2</sup> のコストは	911	円

※ 対象者: 西口地区の計画人口

**Do【実行】** 【進行管理】

6.実施結果(本年度における、4.活動指標と、5.投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか

※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

整備優先度の高い「しらうめ保育園周辺」、「羽村大橋周辺」の地区において、保育園の民営化のための換地先の確保、都市計画道路の整備及び宅地造成等に向けて、権利者や関係機関との調整・協議を行い、計画的な事業推進を図り、建物等の移転や区画道路築造工事及び羽村東小学校の遊具等の移転工事などのハード事業に着手した。

②投入実績

決算の内訳 (単位:円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	337,300,000	4,381,000	341,681,000	309,861,146	90.7%

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

前年度(今までの状況)	今年度(どういう状態になったか)
事業計画の変更を行い、ハード事業へ移行できることとなった。	事業計画の変更決定に伴い、ハード事業へ移行し、関係機関及び関係権利者等との調整・協議を行い、建物等の移転や区画道路の築造工事などに着手した。

②成果指標(目標値)を数値化している場合

対象者(物)	本年度:目標値	本年度:実績値

**Check【評価】**

◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

○・・・適切なもの

8.評価

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	評価のポイント	項目の着眼点	課長評価
妥当性(必要性)	・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か ・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか ・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか	施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか	○
効率性(手法)	・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか	成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか	○
有効性(成果)	・事業の目標が達成されているか	成果又は効果が表れているか	○

②事業評価(今後の方向性についての視点)

【今後の方向性】		高 [妥当性・有効性]	高 [効率性]	今後の方向性						
低	<table border="1"> <tr> <td>B:事業の進め方の改善の検討</td> <td>A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当</td> </tr> <tr> <td>C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討</td> <td></td> </tr> <tr> <td>D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討</td> <td></td> </tr> </table>	B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当	C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討		D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討				A
B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当									
C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討										
D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討										
		低								

**Action【改善】**

事務事業から導かれる課題と今後の方向性

評価(所管課長)
事業計画及び移転実施計画を踏まえ、引き続き権利者との調整や関係機関等の協議を進め、計画的かつ効率的に事業を推進していく。

1.基本項目		作成部署	都市整備部 区画整理管理課・区画整理事業課			
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	進行管理
2	羽村駅西口地区先導的都市環境形成計画の推進	年				
	01	年				
	02	年				
	03	年				
	04	年				
	05	年				
関連課	環境保全課					
基本目標	4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	27 都市基盤整備	事業番号	2

2.事業の概要

事業内容	羽村駅西口地区区画整理事業の施行にあたっては、先導的都市環境形成計画に基づき、低炭素型のまちづくりを推進します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.成果指標

成果目標	平成23年3月に策定した「羽村駅西口地区先導的都市環境形成計画」に基づき、羽村駅西口地区の地球環境に配慮した快適で住みよい都市づくりの実現を図る。 再生エネルギーの有効活用、環境に配慮した交通手段、緑の保全・育成、環境意識の啓発などの諸施策の推進により、低炭素型社会の実現を目指す。 羽村駅西口地区から排出される二酸化炭素の排出削減目標値……4,048t-CO2/年の削減
------	--

4.活動指標

Plan【計画】	平成26年度(現況)	3か年計画		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業内容 事業量等	ウッドチップ舗装路の管理・効果の検証 稲荷緑地再生事業 環境に配慮したまちづくり活動	ウッドチップ舗装路の管理・効果の検証 稲荷緑地再生事業 環境に配慮したまちづくり活動	ウッドチップ舗装路の管理・効果の検証 稲荷緑地再生事業 環境に配慮したまちづくり活動	ウッドチップ舗装路の管理・効果の検証 稲荷緑地再生事業 環境に配慮したまちづくり活動

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成26年度(現況)		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	0人	0H	0人	0H	0人	0H	0人	0H
主事・主任職	1人	24H	1人	24H	1人	24H	1人	24H

②総事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成26年度(現況)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業費	0	0	0	0
人件費(係長職)	0	0	0	0
人件費(主任・主事職)	88	87	87	87
総事業費(合計)	88	87	87	87
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0
受益者負担額	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0
一般会計繰入金	0	0	0	0
起債	0	0	0	0
一般財源(人件費含む)	88	87	87	87
財源内訳(合計)	88	87	87	87

③コスト計算

ア 市民	56,412	人における1人あたりのコストは、	2	円
イ 対象者		人における1人あたりのコストは、		円
ウ 成果物		の出来高		円
※ 対象者:				

**Do【実行】** 【進行管理】

6.実施結果(本年度における、4.活動指標と、5.投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか

※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

ウッドチップ舗装路の管理・効果の検証のための巡回を行った。  
 他自治体職員及び議員等に剪定枝を再利用したウッドチップ舗装のPRを行った。  
 羽村東小学校の遊具等工作物移転に伴い、環境配慮型の照明塔を設置しLED化を図った。  
 区画道路整備に伴い道路延長にあわせて、地下涵養のための雨水浸透トレンチ管を敷設した。

②投入実績

決算の内訳 (単位:円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	0	0	0	0	-

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

前年度(今までの状況)	今年度(どういう状態になったか)
実証実験を継続して行った。	実証実験を継続して行った。 剪定枝を再利用したウッドチップ舗装のPRを行った。 照明塔のLED化及び雨水浸透トレンチ管を設置した。

②成果指標(目標値)を数値化している場合

対象者(物)	本年度:目標値	本年度:実績値

**Check【評価】**

8.評価

◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

○・・・適切なもの

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	評価のポイント	項目の着眼点	課長評価
妥当性 (必要性)	・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か ・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか ・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか	施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか	○
効率性 (手法)	・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか	成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか	○
有効性 (成果)	・事業の目標が達成されているか	成果又は効果が表れているか	○

②事業評価(今後の方向性についての視点)

【今後の方向性】	高 [妥当性・有効性]	今後の方向性						
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">B:事業の進め方の改善の検討</td> <td style="width: 50%;">A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当</td> </tr> <tr> <td colspan="2">C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討</td> </tr> <tr> <td colspan="2">D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討</td> </tr> </table>	B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当	C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討		D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討		高 [効率性]	A
B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当							
C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討								
D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討								
低	低							

**Action【改善】**

事務事業から導かれる課題と今後の方向性

評価(所管課長)
本事業は、土地区画整理事業を基幹事業としている計画であり、基幹事業の進捗にあわせて成果が表れるため、今後の方向性については、引き続き、「計画どおりに事業を進めることが適当」と判断し、土地区画整理事業の進捗に沿って進めていく。